

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター  
教育共同利用拠点の助手（特定有期雇用）について

教育共同利用拠点

信州大学は第2期中期目標・中期計画において、持続可能な明日のために、信州「知の森」づくりを具現化する取り組みとして、部局重点事業計画（三ツ星計画）を創出し、重点化することで積極的で効率的な運用を図ろうとしています。農学部は三ツ星計画において教育組織の見直しと学部改組の取り組みを掲げ、アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）の各ステーションのフィールドを活用した教育に関して、他大学との教育連携の充実・拡大を更に強化し、「教育共同利用拠点」を目指してきました。

文部科学省は多様化する社会と学生のニーズに応えるべく、各大学の教育理念に基づいた機能別分化を図り、個性化・特色化を進めながら教育研究活動を展開する重要性を認識し、質の高い大学教育を提供するため、他大学との連携を強化し、各大学の有する人的・物的資源の共同利用の推進による多様かつ高度な教育の展開を求めています。すなわち、大学の農場、演習林、練習船、水産実験所における連携強化と共同利用拠点として全国で14大学18施設等を認定してきました。

農学部附属AFC演習林は、平成26年度、文部科学省から教育共同利用拠点として認定され、南信州地域における演習林教育共同利用拠点を運営しております。本拠点は、AFC専任教員、農学部教員が連携して自然の成り立ちから山の生業」まで多様なフィールド教育を提供し、農林生産環境および山岳環境に関連する研究を進めています。

・ 募集

拠点には専任教員として助手（特定有期雇用）を配置するため、国際性を備えた活力のある若手研究者を広く公募します。男女雇用機会均等法を遵守し、女性研究者、外国人研究者の応募も歓迎します。

・ 採用後の条件

職 種：助教（特定有期雇用）

任 期：3年（原則更新はしません。）

給 与：任期満了時までの給与は年俸制で約360万円を予定しています。

なお、諸手当及び退職金の支給はありません。

保険等：雇用保険、労災保険、文部科学省共済組合 に加入となります。

業 務：本公募により採用された教員は、農学部、農学研究科の教育・研究・管理運営業務等に従事します。

勤務地：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

（長野県上伊那郡南箕輪村 8304）